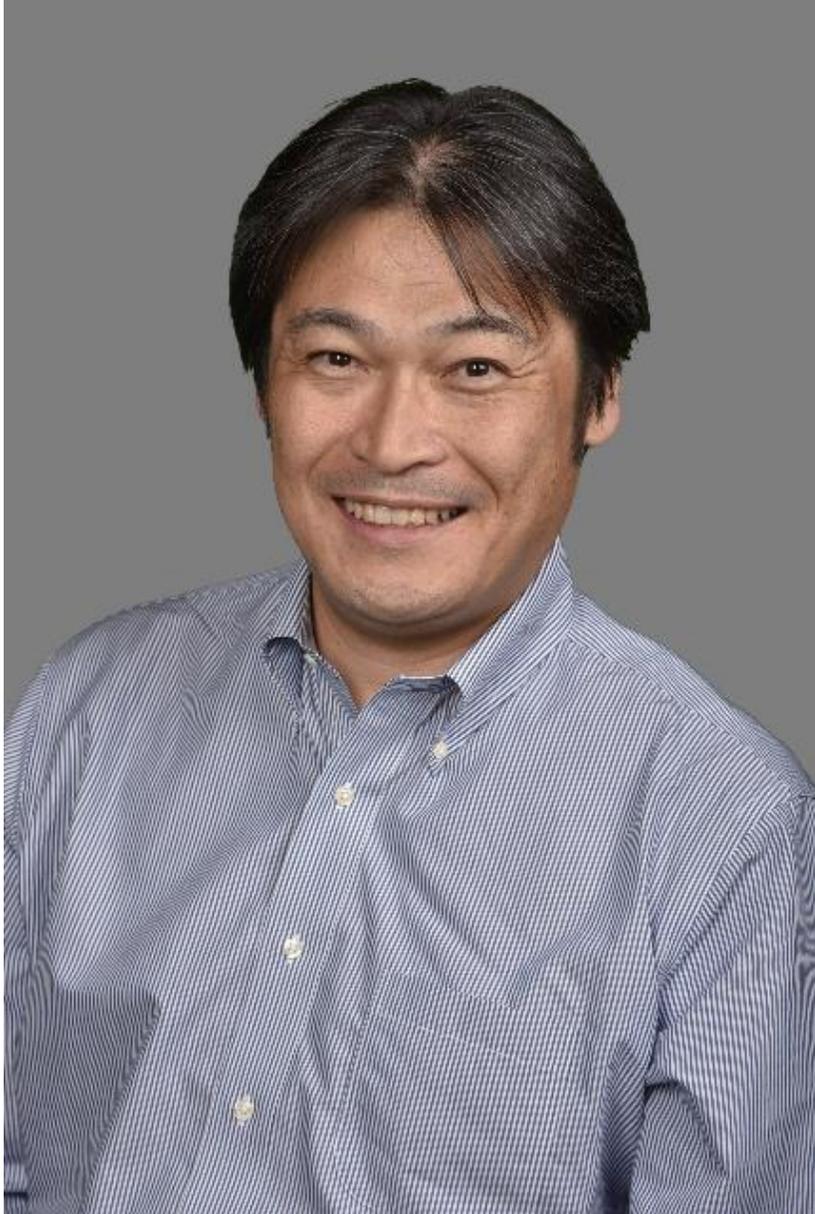


東京都が進めるデジタル人材育成の取組と デジタルスキルマップ

January 2024

東京都デジタルサービス局
荻原聡

Presenter



荻原聡（おぎわら さとし）
東京都デジタルサービス局
サービス開発担当部長
DX推進統括担当部長兼務

OGIWARA SATOSHI
Senior Director for Service Development
Comprehensive Senior Director for DX Promotion
Bureau of Digital Services

組織のご紹介

東京都デジタルサービス局

総務部	総務課	局の庶務、人事
	デジタル人材戦略課	デジタル人材の確保・育成、職員のデジタルリテラシー向上
	企画計理課	局の企画、予算、決算、会計、広報広聴等
	情報セキュリティ課	サイバーセキュリティを含む都庁等の情報セキュリティに関すること
戦略部	戦略課	デジタル関連施策に係る総合的な企画及び国等との連絡調整等、行政手続デジタル化の企画・指導
	デジタル推進課	デジタル関連経費の把握及び分析、デジタルサービスの品質確保・向上等
	区市町村DX協働課	区市町村のデジタル関連施策の推進等
	デジタル改革課	構造改革（デジタル技術を活用した行政の推進）、業務改善の企画等
デジタルサービス推進部	デジタルサービス推進課	データ利活用の推進、スマートシティ等
	つながる東京推進課	TOKYO Data Highwayの推進、島しょ地域の情報通信基盤の整備等
デジタル基盤整備部	情報システム企画課	デジタルサービス基盤の整備計画・設計等
	情報システム運用課	都庁共通基盤システム、データ通信ネットワークの運用・管理等

本日お伝えしたいこと

デジタル人材育成における スキル可視化 の有用性・重要性

背景・狙い

仕組み

アウトプット

本日お伝えしたいこと

デジタル人材育成における スキル可視化 の有用性・重要性

背景・狙い

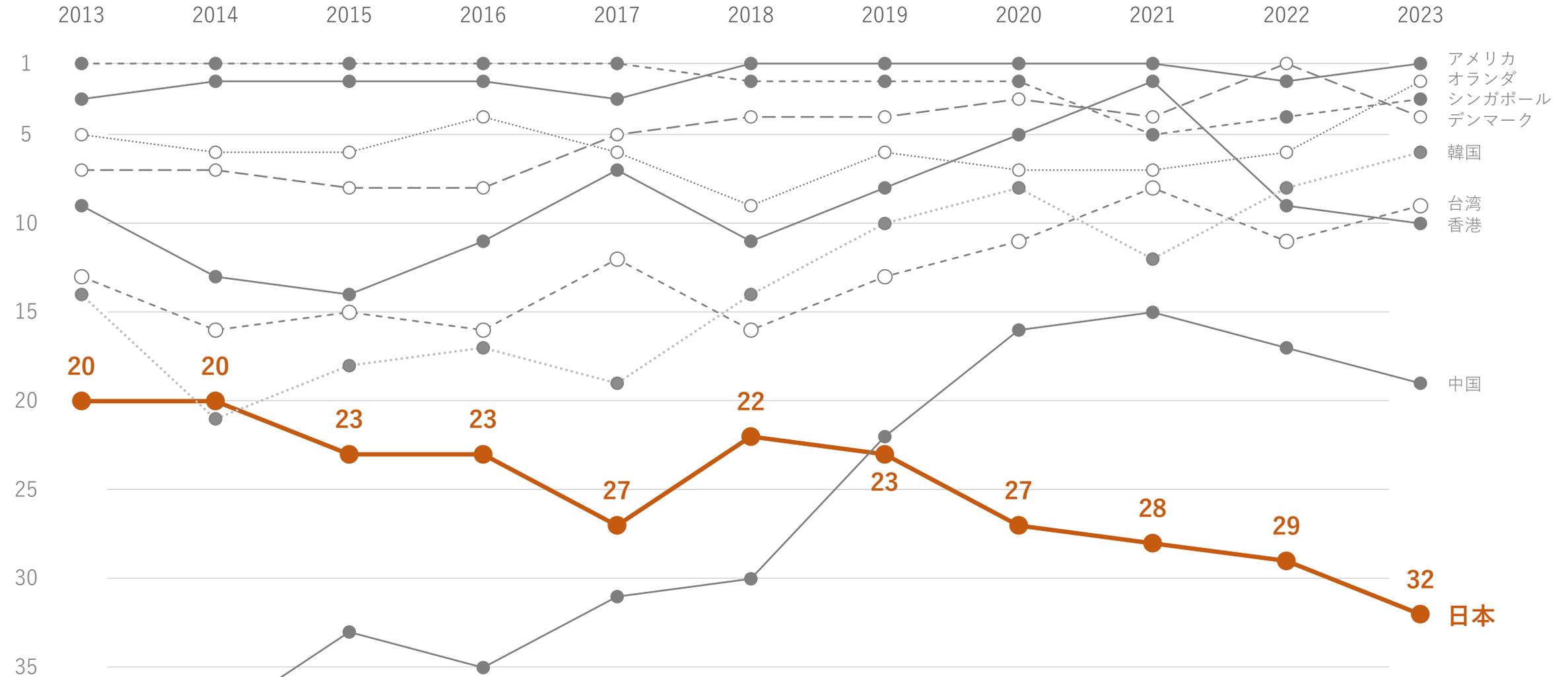
仕組み

アウトプット

背景・問題認識

デジタル分野における「日本」の現在地

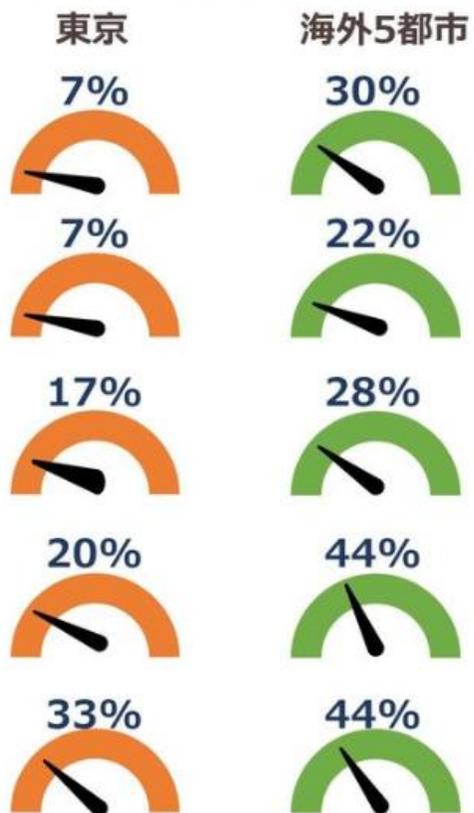
世界デジタル競争力ランキング



デジタル分野における「東京」の現在地

デジタル化された行政手続の利用率・満足度

デジタル化された手続の利用率



利用した人の満足度



総合満足度

(※サービスを利用したことがない人も含めた総合満足度)



QOSの高いデジタルサービスの実現に向けて

「シン・トセイ ～都政の構造改革QOSアップグレード戦略」策定（2021年3月）



(エグゼクティブサマリーより抜粋)

東京が変わる、そのために都政が変わる ～都政の構造改革とは～

- これまでの都政改革を継承・発展させつつ、DXの推進を梃子として制度や仕組みの根本まで遡った「都政の構造改革」を強力に推進し、**都政のQOS（Quality of Service）を向上させることで、都民のQOL（Quality of Life）を高め、誰もが安全・安心で幸せを享受できる社会を実現**
- 2025年度を目途に「デジタルガバメント・都庁」の基盤を構築するため、本戦略において2020～22年度までに短期集中で取り組むプロジェクトの具体策を提示
- 改革の実践の中で見出された課題について柔軟な発想とアプローチで制度や仕組みの変革につなげ、「都政の新しいスタンダード」を都庁に浸透させる

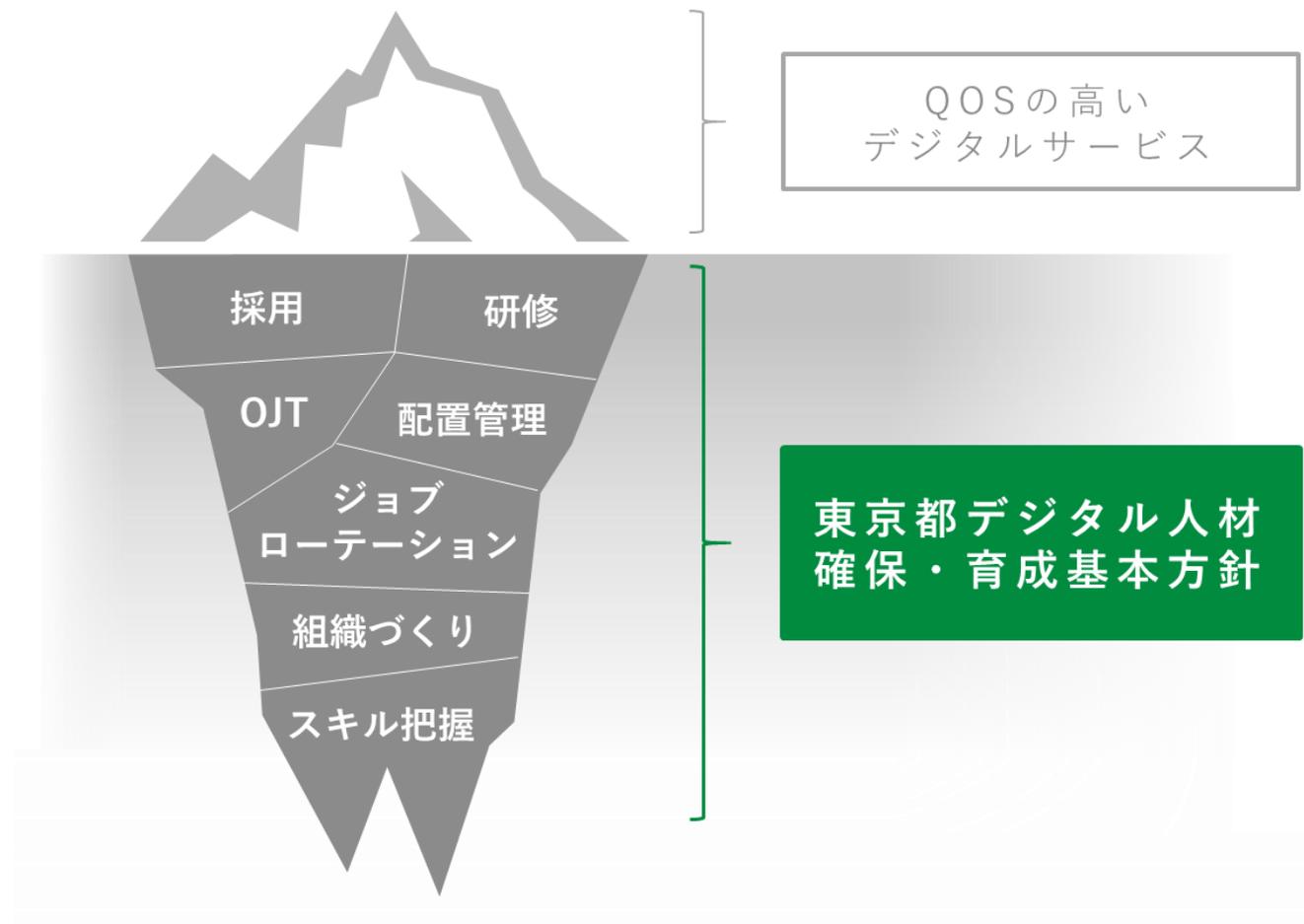
QOS向上のカギとなる「デジタル人材」に係るさまざまな制度や取組 「東京都デジタル人材確保・育成基本方針」策定（2022年2月）

方針策定の基本認識

QOSの高いデジタルサービスの実現にあたり、
カギになるのは「ひと」

デジタルサービスを支える「ひと」を確保・
育成するとともに、最大限の能力を発揮できる
ようにすることが重要

デジタルサービスの利用者からは直接見えない
水面下で、デジタル人材に係る採用、研修、
OJT、配置管理、ジョブローテーション、
組織づくり、スキル把握等の制度や取組みの
充実が必要



東京都における「デジタル人材」の定義

ICT職・高度専門人材・リスキリング人材が One Team で DX を推進

ICT職

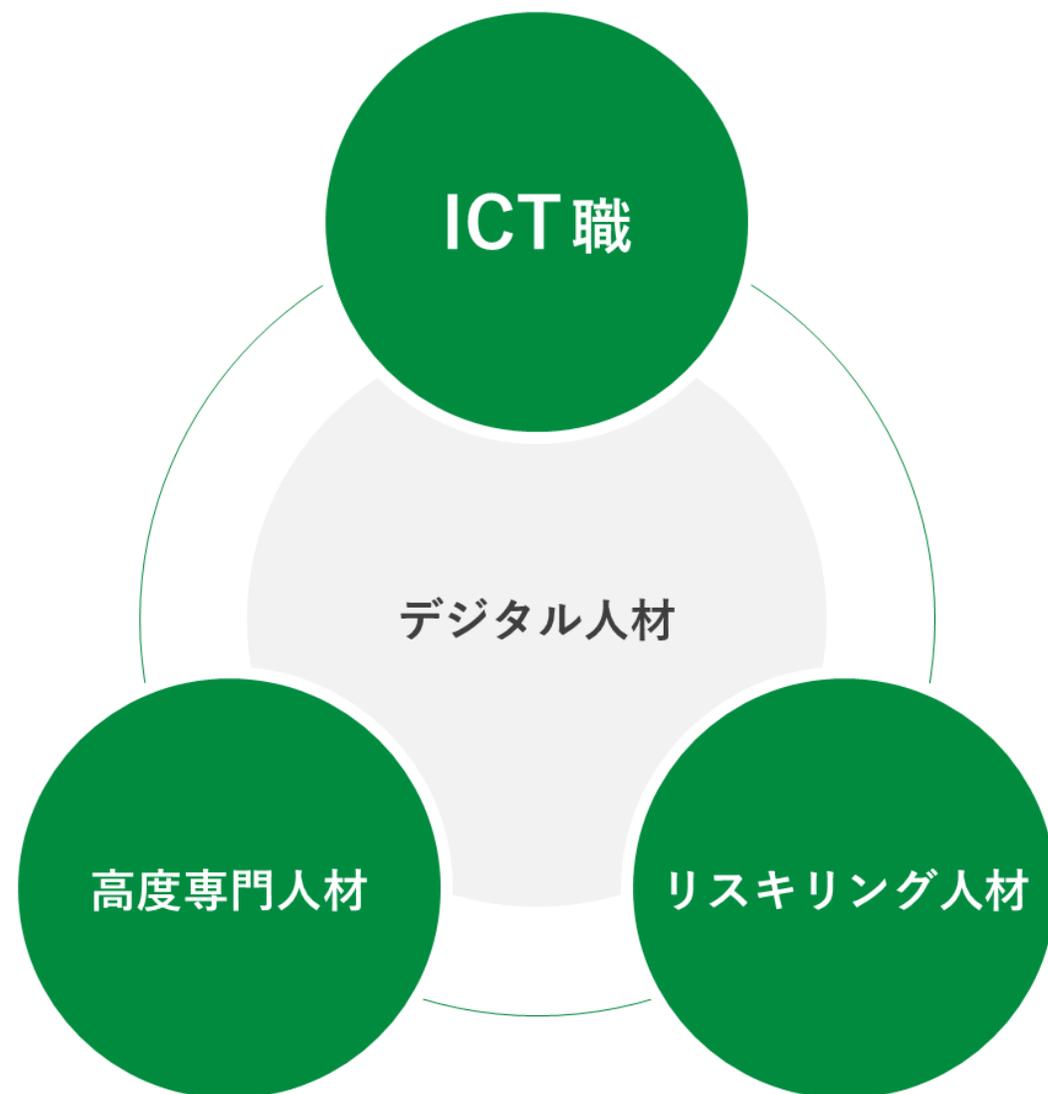
- デジタルスキルと行政の専門性をバランスよく身に付け、都のDXに関する施策立案等を牽引
- 都の施策を踏まえ、デジタルサービスのプロジェクトマネジメントを先導

高度専門人材（特定任期付職員、会計年度任用職員等）

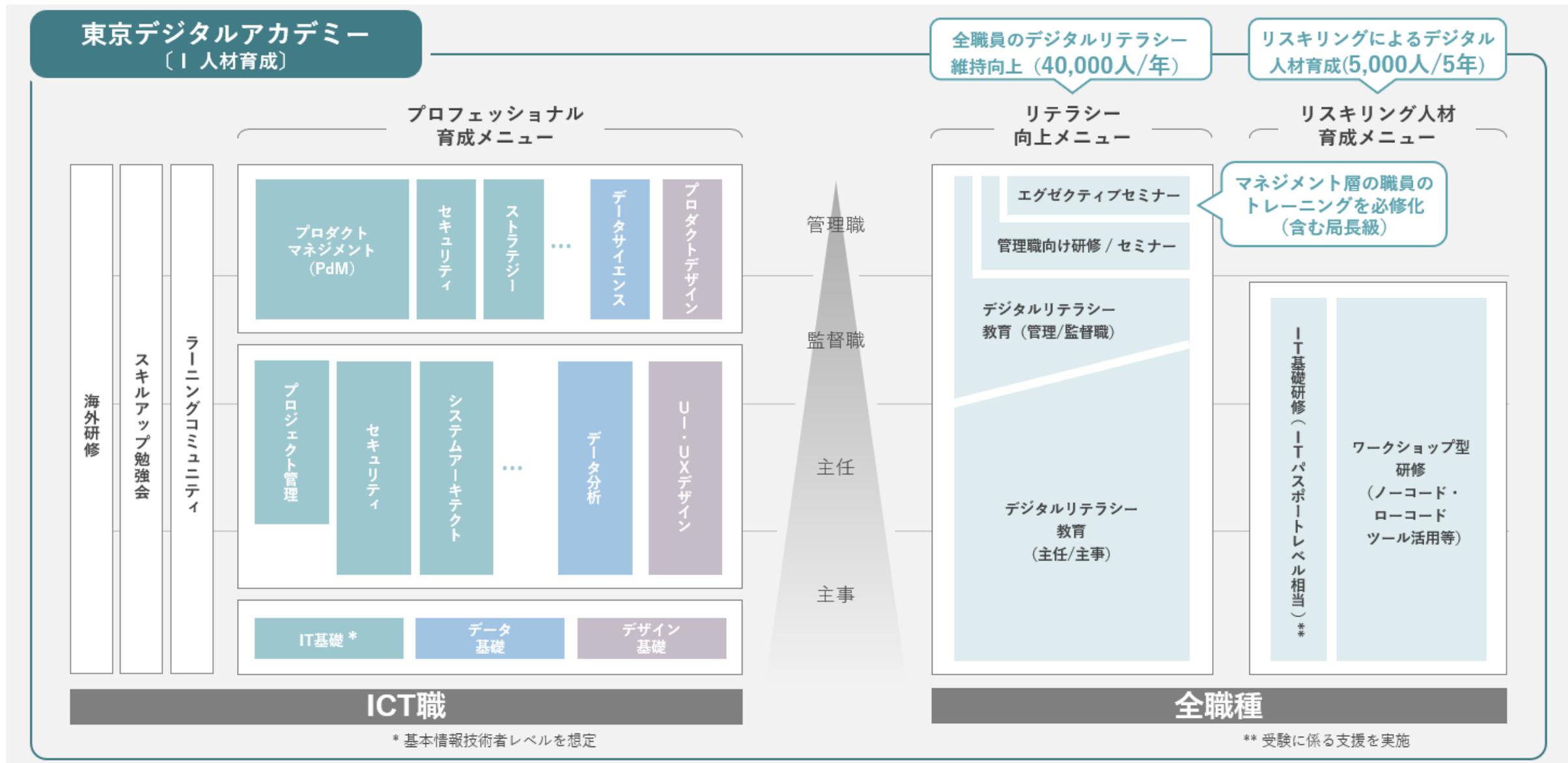
- 最先端の高度なデジタルスキルを活かし、モックアップやプロトタイプのスピーディな作製など、都のデジタルサービスのクオリティ向上を技術面から牽引

リスキリング人材（ICT職以外の職員）

- 行政に関する高い専門性を持ちつつ、デジタルテクノロジーに関する知見を身に付け、都の施策のデジタル化の課題などを把握し、ICT職や高度専門人材と連携して解決



人材育成に向けた具体的な取組（「東京都デジタル人材確保・育成基本方針」より抜粋） デジタル人材に関する育成体系の全体像



デジタルスキルマップ導入の背景

「共通言語」の定義及び「現在地」把握の必要性を背景に、デジタルスキルマップを開発

「共通言語」

さまざまなバックグラウンドを持つ関係者の中で共通理解を図るため、デジタルスキルやジョブについて「共通言語」を定義する必要性



「現在地」

一人ひとりのスキルレベルやジョブ毎の適性等を可視化し、都庁内のデジタル人材の「現在地」を把握する必要性



デジタルスキルマップ

デジタルスキルマップ導入の狙い

デジタルスキルマップを活用し、戦略的なデジタル人材確保・育成の実現を目指す

デジタルスキルマップ



人材確保

- DX推進のため、都庁内にデジタルスキルを有する人材を戦略的に確保
- 確保したデジタル人材の定着と流動性の両立を図り多様なデジタル人材が活躍する都庁を実現



人材育成

- デジタルテクノロジーの進展に対応した、ICT職の継続的なスキルアップ
- ICT職の現場感覚及び経営視点の醸成
- ICT職以外の職員のリスキリング等

本日お伝えしたいこと

デジタル人材育成における スキル可視化 の有用性・重要性

背景・狙い

仕組み

アウトプット

スキル項目とレベル定義

22種類のスキル項目を設定、さらに各項目についてレベル0～3の4段階で判定する枠組み

分類	#	スキル項目	定義	Lv.0	Lv.1	Lv.2	Lv.3
戦略・企画	1	IT戦略	DXやICTシステムに関する戦略策定や事業企画を行う	【未実施】 基礎知識が無く、実践の経験も無い(ゼロ)	【要指導レベル】 基礎知識を有し、指導のもと実践できる	【自立レベル】 応用知識を有し、独力で実践できる	【指導者レベル】 高度な専門知識を有し、他者を指導できる
	2	サービスデザイン	デザイン思考に基づき行政サービスの開発や改善を行う				
	3	マーケティング	ユーザの顕在/潜在ニーズを理解し、QOSを最大化するための仕組み作りを行う				
デザイン	4	UXデザイン	行政サービスのユーザ体験設計、フィードバックに基づく継続的な改善活動を行う				
	5	UIデザイン	ビジュアルデザインや情報設計、コーディング等を行う				
データ	6	データアナリティクス	数学/統計学等のスキルを有し、データ分析から得た洞察を可視化して還元する				
	7	データエンジニアリング	分散処理やデータ管理等のスキルを有し、ビッグデータ基盤の構築・運用を行う				
プロジェクト管理	8	プロジェクトマネジメント	プロジェクトの特性に応じた管理手法を用いて推進し、成功に導く				
システム全般	9	システムアーキテクチャ	システム全般を統率し、仕様策定や要件定義、アーキテクチャ設計を牽引する				
	10	クラウドサービス活用	クラウドサービスの市場動向や特性を把握し、適切な選定や導入支援を行う				
アプリケーション	11	業務系アプリ設計・開発	業務系アプリケーションに関する専門知識・スキルを有し、システム企画・導入を行う				
	12	Webアプリ設計・開発	Webアプリケーションに関する専門知識・スキルを有し、システム企画・導入を行う				
	13	スマホアプリ設計・開発	スマホアプリケーションに関する専門知識・スキルを有し、システム企画・導入を行う				
インフラ	14	ネットワーク設計・構築	ネットワークに関する専門知識・スキルを有し、システム企画/導入を行う				
	15	サーバ基盤設計・構築	サーバ仮想化やOSに関する専門知識・スキルを有し、システム企画・導入を行う				
	16	データベース設計・構築	データベースに関する専門知識・スキルを有し、システム企画・導入を行う				
セキュリティ	17	サイバーセキュリティ	セキュリティに関する専門知識・スキルを有し、システム企画/導入を行う				
	18	システム監査	客観的な視点からシステムの信頼性・安全性・効率性等の点検・評価を行う				
運用	19	運用設計	システム導入工程において、リリース後の運用や維持管理に関する設計を行う				
	20	システム管理	システム運用工程において、安定稼働及び継続的な改善活動を行う				
	21	ユーザサポート	システム運用工程において、ユーザサポートの品質向上及び業務効率化を行う				
先端技術	22	AIエンジニアリング	機械学習等の専門知識・スキルを有し、調査研究、PoC、サービス企画等を行う				

ジョブタイプ 役割ごとに求められるスキル項目/レベルを定義

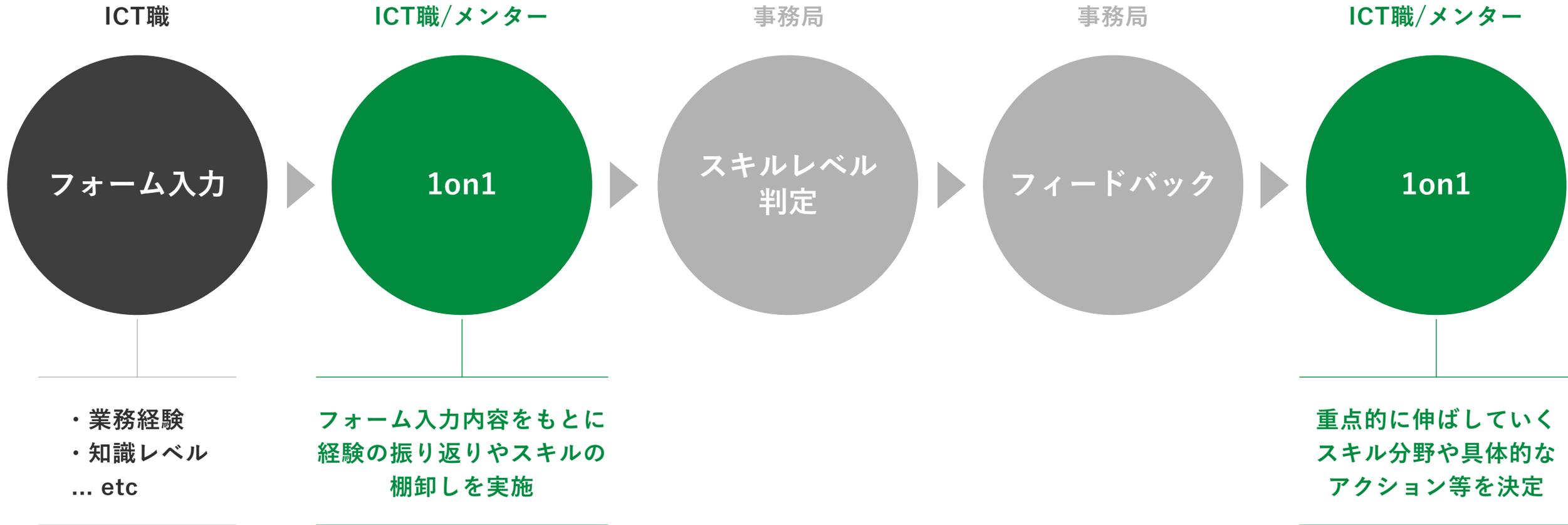
#	ジョブタイプ	略称	スキル項目																						
			ITストラテジー	サービスデザイン	マーケティング	UXデザイン	UIデザイン	データアナリティクス	データエンジニアリング	プロジェクトマネジメント	システムアーキテクチャ	クラウドサービス活用	業務系アプリ設計・開発	Webアプリ設計・開発	スマホアプリ設計・開発	ネットワーク設計・構築	サーバ基盤設計・構築	データベース設計・構築	サイバーセキュリティ	システム監査	運用設計	システム管理	ユーザサポート	AIエンジニアリング	
			ビジネス系スキル						システム系スキル																
1	ビジネスデザイナー	BD	◎	◎	◎	○	○			○		△													
2	UI/UXデザイナー	UX		△	△	◎	◎			△			← いずれか1つ ○												
3	データサイエンティスト	DS		△				◎	◎	△															○
4	プロデューサー	PD	△	△	△	△	△	△	◎	△	△		← いずれか1つ △		← いずれか1つ △		△	△	△						
5	システムアーキテクト	SA	○	△						○	◎	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
6	アプリケーションエンジニア	AE				△	△			△	△	○		← いずれか1つ ◎						○		△			
7	インフラエンジニア	IE								△	△	◎			← いずれか1つ ◎		○			△					
8	セキュリティエンジニア	SE								△	△	○				△	△	△	◎	◎	△				
9	サービスマネージャー	SM	△	△						△									△	○	◎	◎	◎		
10	先端技術エンジニア	AT								△															◎

※ AT : Advanced Technology の略
(対象となる技術は業界動向等を見ながら定期的に更新)

◎ : 高度な知識・スキルが必須 (Lv.3相当)
○ : 基礎的な知識・スキルが必須 (Lv.2相当)
△ : 基礎的な知識・スキルが望ましい (Lv.1相当)

デジタルスキルマップ 実施プロセス (概略)

フォーム入力 ~ スキルレベル判定だけでなく、1on1を織り交ぜて実施



本日お伝えしたいこと

デジタル人材育成における スキル可視化 の有用性・重要性

背景・狙い

仕組み

アウトプット

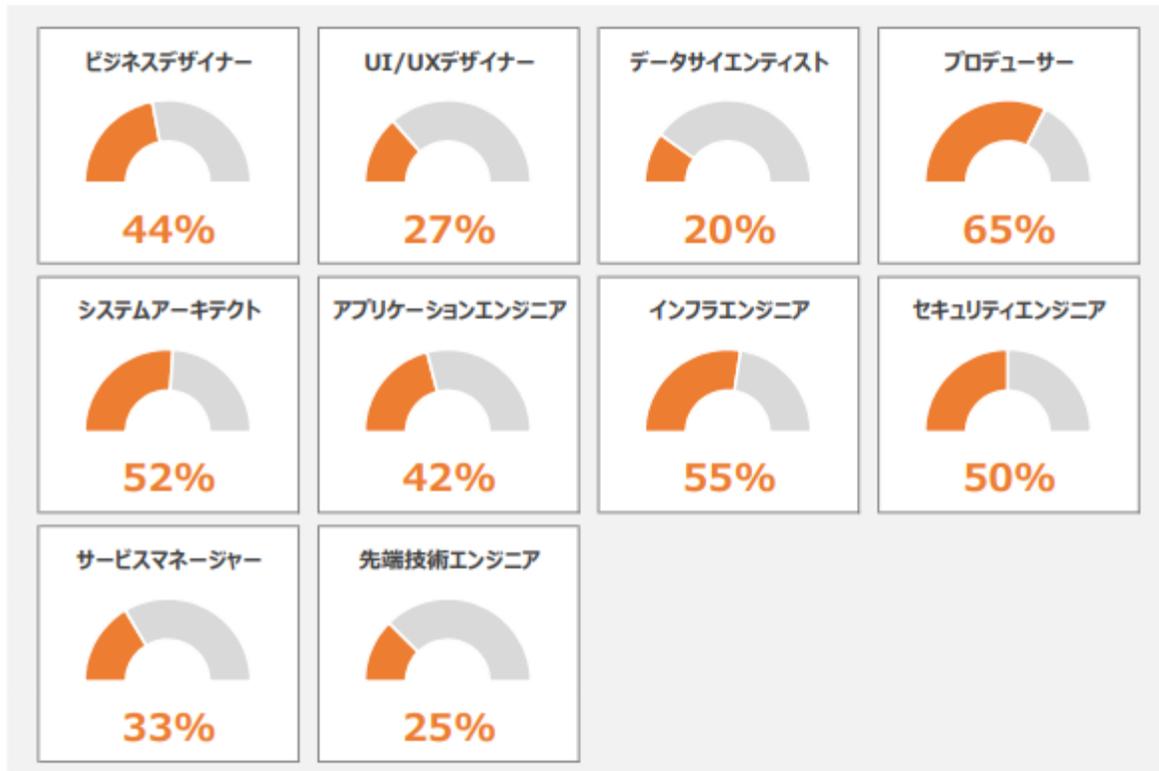
フィードバック（イメージ） スキルレベル及びジョブタイプ達成度を可視化してレポートニング

sample

スキルレベル

ITストラテジー	2	業務系アプリ設計・開発	0
サービスデザイン	1	ウェブアプリ設計・開発	0
マーケティング	1	スマホアプリ設計・開発	0
UXデザイン	0	ネットワーク設計・構築	1
UIデザイン	0	サーバ基盤設計・構築	1
データアナリティクス	0	データベース設計・構築	0
データエンジニアリング	0	サイバーセキュリティ	1
プロジェクトマネジメント	3	システム監査	0
システムアーキテクチャ	1	運用設計	1
クラウドサービス活用	1	システム管理	0
AIエンジニアリング	0	ユーザサポート	0

ジョブタイプ(スキル要件達成度)



スキル要件達成度とは

ジョブタイプ毎に定義された求めるスキルレベルに対して、自身が保有するスキルレベルの達成度を表しています。
詳細は次頁をご参照ください。

*実際のデータとは異なります

スキルレベル集計結果（イメージ）

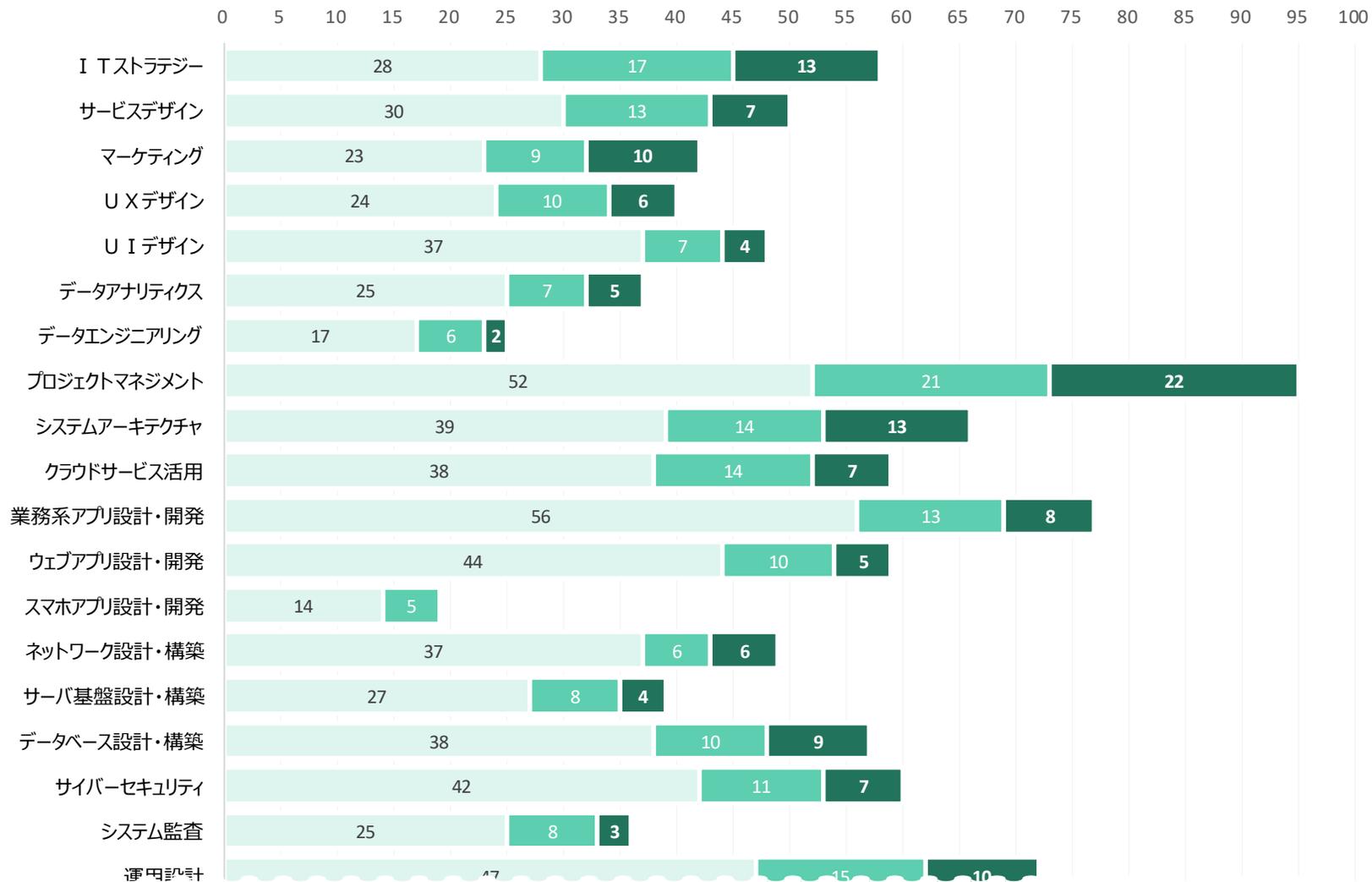
組織全体のスキル項目/レベルごとの保有者数を可視化

sample

Skill Level

凡例： Lv.1 Lv.2 Lv.3

(人)



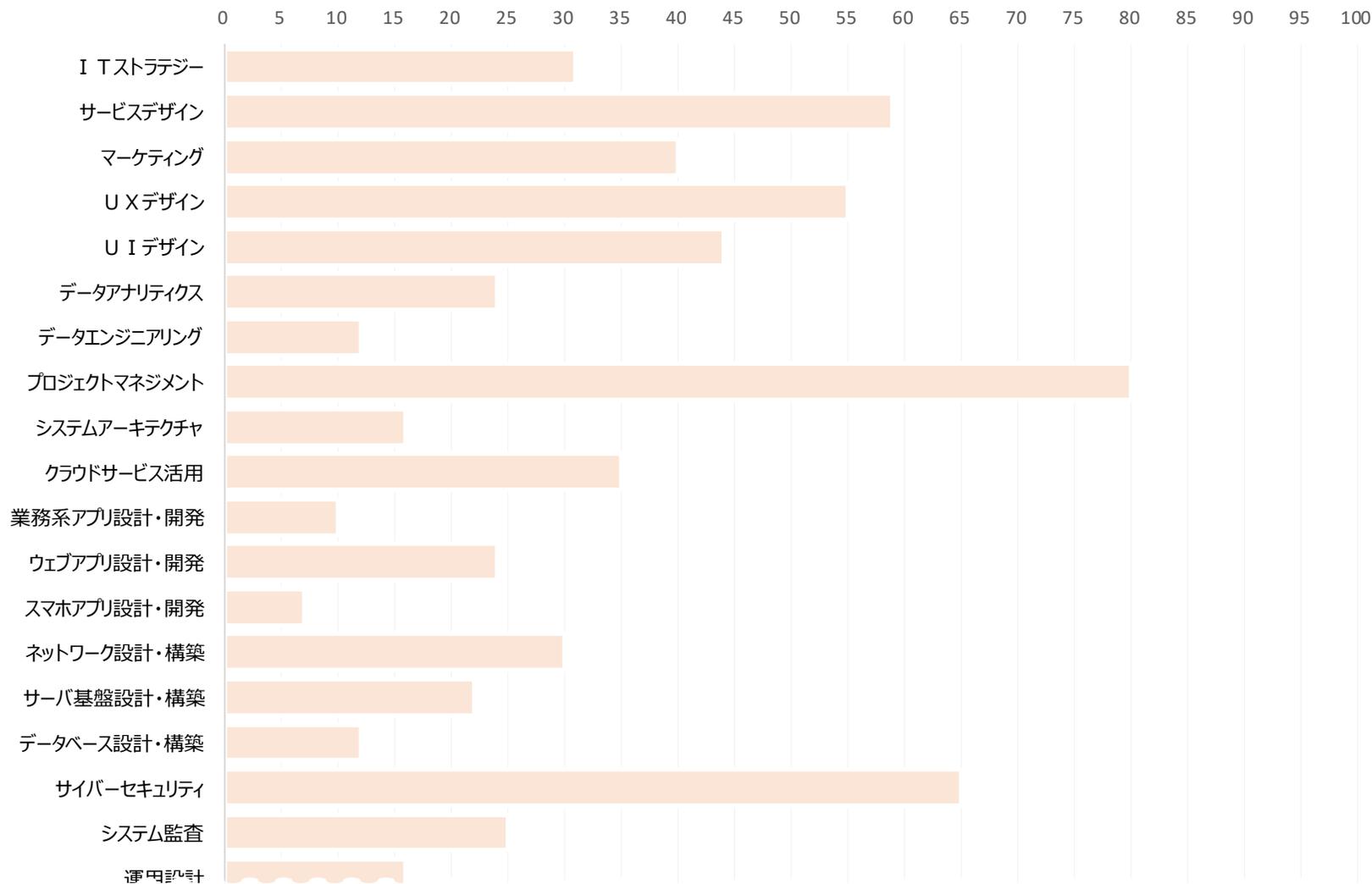
*実際のデータとは異なります

デジタルスキル需要調査（イメージ）

各局への調査結果等をもとに、スキル項目ごとの需要も可視化

sample

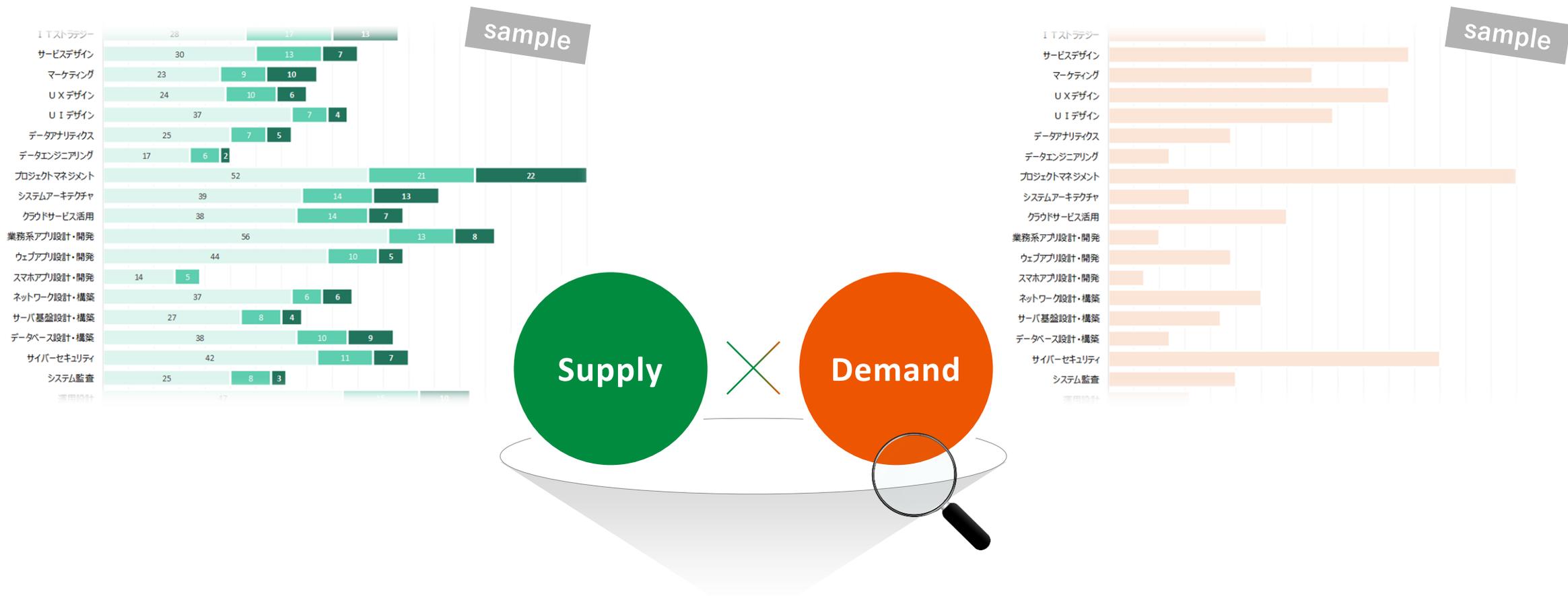
Demand



*実際のデータとは異なります

スキルレベル需給ギャップ分析（イメージ）

需給ギャップ分析により、デジタル人材の確保・育成における重点分野を特定



デジタルスキルに関する需要と供給のバランス・傾向を分析し、
重点的に人材確保・育成すべき分野を特定

本日お伝えしたかったこと

デジタル人材育成における スキル可視化 の有用性・重要性

背景・狙い

仕組み

アウトプット

END